

第 10 回技術研修会(現地研修会:天理市)を開催

- 2021 年 1 月 21 日 (木) 13 時 30 分～16 時、奈良県および天理市のご協力のもと、供用中の九条大橋(くじょうおおはし)を対象に、第 10 回技術研修会を開催しました。
- 奈良県コンクリート診断士会からは 17 名(会員 16 名、一般 1 名)、奈良県道路メンテナンス会議からは 36 名(奈良県、県内土木事務所および 6 市 3 町 4 村)、奈良県森林整備課・農林振興事務所から 13 名、合計 66 名(過去最多)の参加があり、第 1 部を九条大橋での現地研修、第 2 部を長柄総合体育館での座学研修として、2 部構成で実施しました。
- 新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が関西 2 府 1 県に出された状況下での開催であったことから、参加者には検温やマスク着用をはじめとする感染防止対策に協力していただくとともに、3 密を避けるために、現地研修は 2 班に分けて少人数で、座学研修は座席間隔を十分確保して開催しました。
- 九条大橋は、2019 年度の近接目視点検の結果、判定区Ⅲ(早期措置段階)と判定されたものです。第 1 部では天理市から点検結果について概要説明を受けた後、近接目視点検の着眼点、想定される変状原因および診断時の留意点等について研修や質疑応答を行いました。主な変状が漏水や遊離石灰によるものであったことから、第 2 部では構造物の維持管理を考える上での水の影響や、遊離石灰やエフロレッセンスの発生原因を踏まえた対策の考え方などについて、研修や意見交換を行いました。
- 奈良県や関係市町村のご協力を得て供用中の橋梁を対象に行う現地研修は、昨年度に引き続いて 4 回目の開催となりました。これは、奈良県コンクリート診断士会の設立目的である会員の技術力向上や地域貢献に大いに資するもので、以降も継続して開催できるように連携を深めていく予定です。



写真 1 :
九条大橋での現地研修
(2 班に分けて実施)



写真 2 :
長柄総合体育館での座学研修